



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

# アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel (186-)0595-53-1077



[2010/3/20 発行 編集担当：石津 勝]

2009年度の活動も残すところあと少しとなりました。

まだ肌寒い日もあり、桜咲く春の陽気が待ち遠しい今日この頃です。今回号では、先月行なわれたトンボ玉の実技講習会、窯焚きが近づく穴窯焼成、本年度の総括、7年振りに復活した会員紹介コーナーなどを中心にお届けします。

## 第4回実技講習会「ガラス工芸/トンボ玉」の報告です

第4回実技講習会は、2月20日(土)午前班・午後班に別れ、トンボ玉作家の新井克仁氏を講師に迎え「ガラス工芸/トンボ玉(復習編)」を開催しました。参加者は午前8名、午後6名で、内訳は会員6名、一般4名、学生4名の計14名でした。トンボ玉歴15年を越える新井先生の見事なバーナーワークの実演と懇切丁寧なご指導で殆どの方が失敗することもなく、複数の作品を時間一杯制作されていました。午前にはトンボ玉に加えて、干支の寅の制作技法も指導して頂き、午後はハート型のペンダントも作りました。講習後は、近くの猪ノ倉温泉に浸かった後、新井先生を囲み夜遅くまで伊賀の地酒を味わいながらチャンコ鍋に舌鼓を打ちました。引き続き、翌日の「粘土カフェ」の作陶会に参加された方もあり、ものづくり三昧の日々でした。ご参加された皆様、お疲れ様でした。

(第4回実技講習会担当 森田 耕太郎)



講師の新井克仁先生



午前の講習会での制作風景



午後の講習会での制作風景



「後日ネックレスにしてみました」石津

## 窯焚きが近づきました!!!



新しく設置された薪棚の屋根



作陶会での制作風景



作陶会を、12月20日・1月17日・2月21日に行いました。粘土カフェのメンバー以外に、穴窯焼成に興味を持っていただいた会員外の参加者が5名ありました。年末には、念願だった薪棚の屋根ができました。穴窯の一般参加者で彫刻家の角谷真人さんが、お忙しい制作の合間に造って下さいました。年度初めからの薪割り作業など、多くの方々と力を合わせて準備を進めてきましたが、いよいよ窯焚きが近づきました。

今後の予定・・・3月13日(土)が作品の持ち込み、この日から窯詰めの準備となり、14日(日)・15日(月)は窯詰めです。17日(水)に火入れ、昼夜5日間の窯焚き、22日(月・祝)は予備日および片づけを予定しています。ご支援、よろしくお願い致します。

(「粘土カフェ」担当 田上 早百合)

## 2009年度の活動を振り返って！

2009年度を振り返り、2010年度を迎えるに当たり、お礼とお願いを述べたいと存じます。

2009年度は昨年に引き続き「Artist in Residence at IGA」は準備期間の年で、平常の事業を中心に1年の活動を行いました。

2年目となった旧矢持小学校を会場とした「風と土のかたち」展は、会員の皆様を始め、矢持地区市民センターで行なわれている木工旋盤、陶芸の同好会や地元作家の方々、学生ボランティアさん達の出品も増え、来場者は昨年の倍近い数となり充実した展覧会となりました。

また、4回の「実技講習会」は(1,2)「陶芸/磁器泥漿鑄込」、(3)「楽器づくり/カホン」、(4)「ガラス工芸/トンボ玉(復習編)」など、何れも専門性の高いもので、会員を始めとし地域からの参加者なども含め、いずれも好評で、様々な造形力が身に付きました。

「粘土カフェ」の穴窯焼成は3月末に5回目を迎えますが、薪割りや窯焚きは少数の会員と学生ボランティアの方に依存しているのが実情です。青山高原の別荘地から間伐した赤松を提供頂いていますが、運搬や薪割りは一部の人の過重負担になっています。薪は無償とお思いの方もありますが運搬費や活動経費等も発生しており、「参加者が年間を通じ、自ら汗を流して薪を準備し、自分達で窯焚きをする」という当初の趣旨が充分には浸透しておらず、やや残念な状況です。「焼成代行窯」ではなく「自主運営窯」である、という所期の趣旨説明と広報がより必要と感じている昨今です。

「庵プロジェクト」は、まだ担当の石津氏の孤軍奮闘の域を出ていませんが、出来てから利用するだけではなく、「つくる過程を楽しめる参加者」の協力を期待しています。

また、11月に実施した徳島県方面への「研修旅行」は参加者が僅か5名の旅でしたが、神山 AiR 実行委員長さんのお話や神山町内の広範な作品群、'07 レジデンス作家の野崎氏の案内で訪れた「大谷焼」、「藍染工房」、「鳴門教育大学美術棟」等の見学はとても収穫の多い旅となりました。来年は大勢での研修旅行になることを祈念しています。

このように2009年度は良く言えば「少数精鋭」の行事と参加者でしたが、「参加することのみでしか味わえない充実感」をより多くの方々に体感して頂けたらと願っています。「地理的距離」を「心理的距離」で超越し活動に参加する中で、「Virtual Reality」でない「実体験」でのみ得られる「何か」も多々あると思います。2010年度は是非、多くの方が法人活動と運営に積極的、且つお気軽に参加頂くことにより、新しいページが開かれることを期待します。ご参加をお待ちしております。

(代表理事 森田 耕太郎)

## 復活！会員紹介コーナーです

### 「<sup>あつら</sup> 誂える仕事してます／名嘉眞 正 (なかま ただし)」

高校時代の恩師、森田代表との再会からAPPfIに入会して3年、事務局入りして2年になります、名嘉眞と申します。私は名張市の安部田にて、別注家具の仕事を生業にしております。今風に言いますとオーダーメイドですね。そこで皆さんに質問、何かを誂えたことがありますでしょうか？ほとんどの方が無いかもしれませんね。銘ブランド～ロープライス商品問わず、既製品があたり前の時代ですが、いざ必要とするもの、目的にあったものを探すと見つからず困る事があります。それは既製品が、ある程度の流通量を前提に成り立ち、必ずしも個々の要望に応えられるものではないからです。すべてが「そこそこ」だったりするのです。日本でも一昔前までは、必要な物を誂える職人があたり前にいましたし、それは必要にして十分な供給量であったでしょう。消費するだけの誰の為でもないモノがあふれる今より、ある意味よっぽどエコでスマートだったのかも知れませんが。



制作された椅子の写真

会員紹介コーナーですが、お仕事コラムみたいになりましたね。立場や職業は様々ですが、この会でお会いした方々とは、不思議とそんな想いを共有できそうな気がします。では会員の皆さま、今後ともよろしくお願いいたします。

<http://hakoya.exblog.jp/> (家具の音楽／名嘉眞 正)

## 会費納入のお願い & 皆さまのご意見お待ちしております

- 年度末になりました。恐縮ではございますが、会員の皆様の中で入金はまだの方は、年会費の納入をお願いします。

郵便口座： 〇〇八九〇ー一ー一〇六三46 NPOアーツ プラネット プラン フローム イガ

「ゆうちょ銀行」で直接お振り込みいただく場合には、すでに送付済みの振込用紙をご使用いただくか、上記の口座にお振り込みをお願いします。また、「ゆうちょ銀行」へ他の金融機関より振り込みができるようになりましたので、その場合は下記の口座にお振り込みください。よろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行 金融機関コード 9900 店番 089 店名 〇八九店 (ゼロハチキウ店)  
当座 0106346 アーツプラネットプランフロームイガ

- 「展覧会情報」のページに会員の皆様の個展・グループ展等の活動情報を載せますので、事務局まで、是非お知らせください。

ホームページアドレス： <http://www.appfi.org> 事務局Eメール： [contact@appfi.org](mailto:contact@appfi.org)